

# 牧野富太郎書簡(矢澤宛) 大正7年

1918(大正7)年  
諏訪市博物館 蔵

牧野が矢澤宛にタカネマンテマの標本を送るよう要望したハガキ。タカネマンテマは矢澤の教え子岡田邦松が発見した新種で、牧野は矢澤を通じて標本を入手しようとしたと思われる。このはがきの直後に牧野は岡田にハガキを送り、標本の借用を依頼している。



はがき  
牧野富太郎から矢澤米三郎へ  
1918(大正7)年1月6日

拝啓、然れば彼のタカネマンテマの標品御持ち合せニ相成居られ候へ者  
一二個至急ニ御惠贈ニ預度  
此段懇願之至ニ不他候、先ハ右御相談まで、如此御坐候  
恐々頓首  
大正七年一月六日

拝啓、さういふことですので、かのタカネマンテマの標本をお持ちでしたら、1個か2個至急いたきたたく、お願いいたします。まずは右相談いたします